

あわこはちまんじんじゃ こうしんどう
泡子八幡神社 庚申堂

仁豊野の守り神です。境内には天神社、琴平社、愛宕社など五つの小さい神社や庚申堂、地藏堂があり、神さまと仏さまが一緒にまつられています。庚申堂の庚申とは、魔よけを祈ったおまじないのようなものです。中にはたくさんの猿のぬいぐるみがおさめられています。

行った日



おおとしじんじゃ
大歳神社

まつられているのは大年神で、砥堀村の守り神です。安政6年(1859)の石鳥居をはじめ、宮型燈籠、春日型燈籠など、江戸時代につくられたものがあります。絵馬も天保11年(1840)の「富士裾野巻狩図」をはじめ江戸時代につくられたものがたくさんあります。

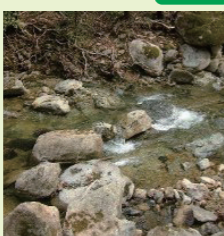
行った日



きんきしぜんほどう そうめん滝の遊歩道
そうめん滝キャンプ場-弥高山・仙源寺跡

弥高山から流れる川には形が変わった岩や滝があり、「そうめん滝」とよばれています。周りにはナラ、ブナ、椿が生い茂り、森林浴も楽しめます。上流にはキャンプ場もあり、近畿自然歩道としてたくさんの市民に親しまれています。

行った日



ぎんばしやまちばしやまちしゅうちくひ
銀の馬車道「馬車道修築碑」

砥堀にある橋は「生野橋」です。生野と飾磨を結ぶ馬車道をつくる工事の中でも市川に橋をかける工事が一番難しかったそうで、橋が無事にできあがったことを記念して「生野橋」と名づけられました。この石碑には馬車道の成り立ちが彫られています。

行った日



こだまじんじゃ
小玉神社

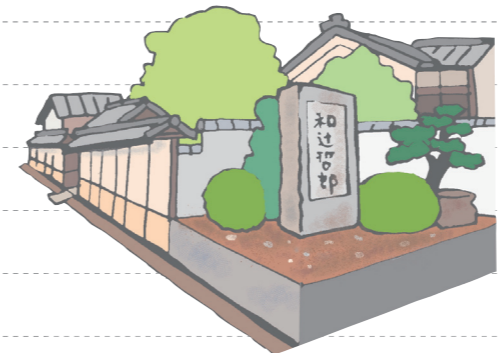
宇賀魂神がまつられています。今でも地域の人々からあつく信じられています。

行った日

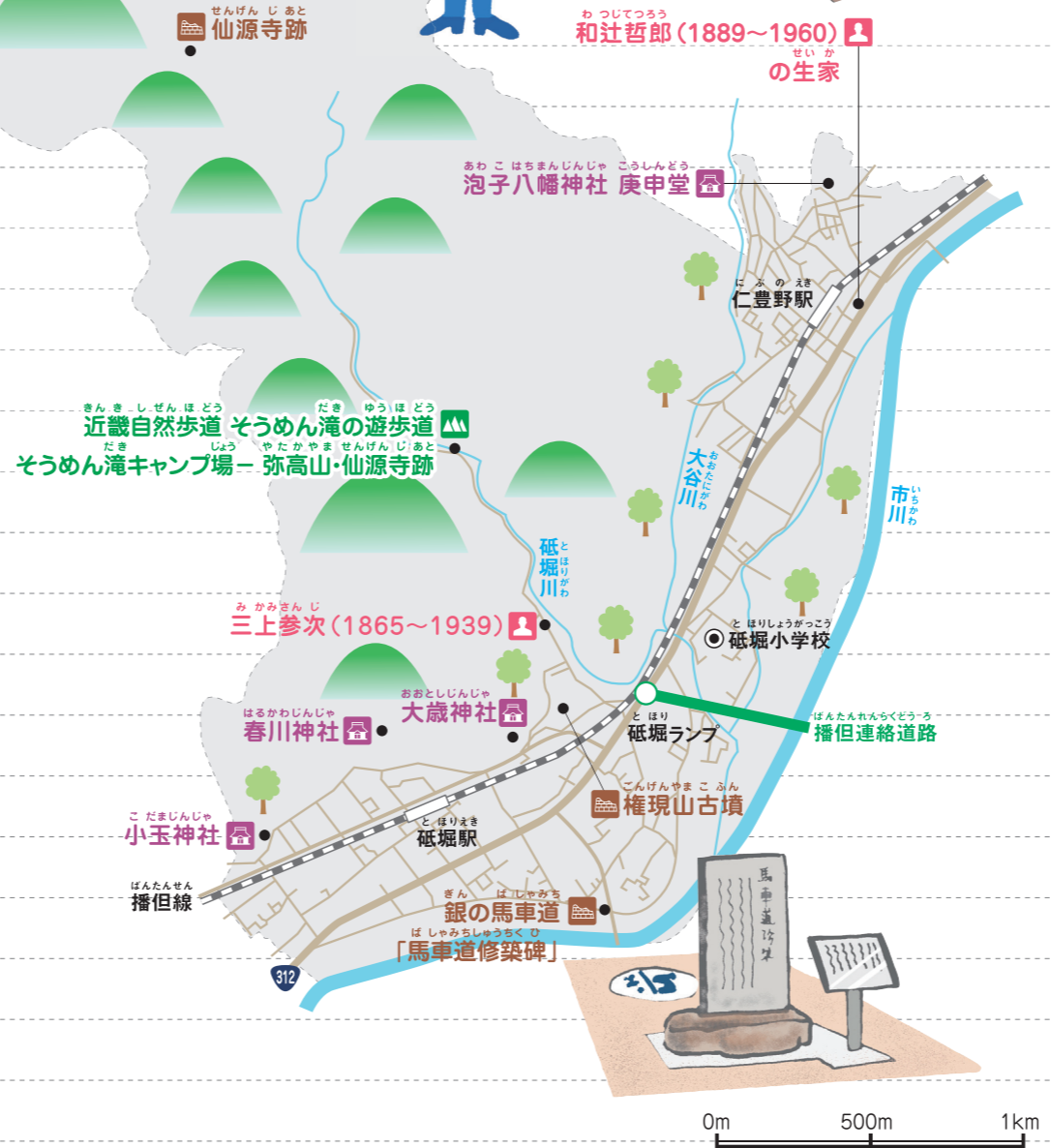


生野銀山と飾磨を結ぶ馬車道の成り立ちや道筋について調べてみましょう。また、橋をかける工事がどのように行われたのか調べてみましょう。

とほりちく
55 砥堀地区



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!

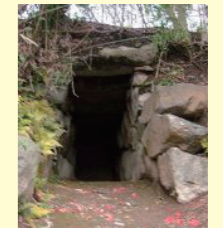


- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 伝統芸能など
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 景勝
- 歴史上の人物など
- 生物・花
- 祭り
- 町並み
- 美術品
- etc その他

ごんげんやまこふん
権現山古墳

一辺30mほどの四角い形をしていて、入り口が南にある横穴式古墳です。中の道は10mあり、棺がおかれた部屋は片袖式です。奥行きは4m、幅は2mあり、市内で一番大きい古墳の一つです。市の史跡に指定されています。

行った日



せんげんじあと
仙源寺跡

仙源寺の跡地は、弥高山の上にあります。人が住んでいた山城であったと思われる。

行った日



はるかわけじ
春川神社

御年大神・大年大神・若年大神がまつられています。弘化2年(1845)につくられた狛犬、宝暦9年(1759)と慶応2年(1866)につくられた燈籠などがあります。また、「領主に米を納める図」「参議対韓問題を論ずる図」など明治時代の世の中をあらわしたユニークな絵図もあります。

行った日



みかみさんじ
三上参次(1865~1939)

三上参次は、明治13年(1880)、砥堀小学校(桃季小学校)の先生となりました。その後、東京帝国大学の教授となり、明治から昭和にかけて日本を代表する歴史学者として活躍しました。史料編纂所では「大日本史料」をつくりました。そうめん滝の「砂防竣工記念碑」は三上参次が書いたものです。

行った日



わつじつろう
和辻哲郎(1889~1960)の生家

和辻哲郎は、砥堀小学校を卒業し、東京帝国大学に入学しました。大学では古典や仏教美術を研究しました。「風土」「古寺巡礼」など多くの本を書いた日本を代表する思想家です。彼が生まれたこの家は、「春の来た日に 和辻哲郎ここに生まれる」と彫られた碑があります。

行った日

